

# 特集

## 学校運動部活動と連携するクラブ



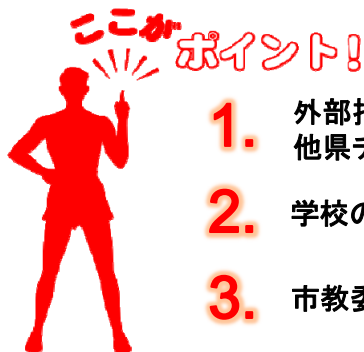
### ONOスポーツクラブ ＜愛媛県松山市＞



中学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

このような中、平成30年3月にスポーツ庁において「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が策定され、ガイドラインの中で総合型クラブと中学校運動部活動の連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。



1. 外部指導者として部活動に参加  
他県チームとの交流大会開催が指導者・生徒に好評
2. 学校の顧問・教頭先生にクラブ側からコミュニケーション→意思疎通図る
3. 市教委、学校、クラブによる3者協議会を設け、率直に意見交換

## 1 クラブ概要

平成23年当時、生徒数の減少やそれに伴う教員数および部活動競技数の減少など、中学校運動部活動(以下部活動)を取り巻く環境は決して楽観視できるものではなくなっていました。そこで私たちは地域の「人財」を活用し、松山市小野地区の子供たちのスポーツ環境向上の一助となることを目的に、同年4月に中学校PTA役員、保護者が中心となって「小野スポーツ交流実行委員会」を設立しました。

まず取り組んだことは、部活動への人的支援です。女子バレーボール部、野球部に外部指導者として参加、顧問の指導をサポートしました。続いて、日頃対戦する機会の少ない他県チームとの試合機会を増やすことを目的に、交流大会を開催しました。参加した指導者の皆様からは、県外チームとの交流のきっかけを得ただけでなく、「子供たちのモチベーションアップにもつながった」など評価の声を得ることができました。

その後、私たちの活動を知った行政からの勧めもあり、平成25年4月、総合型地域スポーツクラブ「ONOスポーツクラブ」として活動することとなりました。「スポーツを通じて子供たちを、地域を笑顔に」を理念に子供から大人まで誰もが参加できるクラブを目指して活動を続けています。

現在の活動は、軟式野球交流大会(中学生大会、U18女子大会)、スポーツ教室(硬式テニス、バスケットボール、軟式野球、スポーツウエルネス吹矢)、各種イベント(どろんこ大会、テニール教室)を開催しています。また外部指導者として小野中学校野球部、女子バレーボール部、男子バスケットボール部に参加しています。

## 2 生徒・保護者の声を受け硬式テニス教室を開設

### 非部活動でも学校代表として中体連主催大会に出場し好成績

平成25年、地域で公共のテニスコートを使って練習をしていた小野中学校の生徒、保護者から硬式テニス部を作って欲しいという要望が学校にあがりました。しかし、部の新設は顧問および練習場の確保等の問題で認められませんでした。保護者からは、「週末のコート予約は難しく使用料の負担も大きい、部活動は無理でも学校のコートが空いている時に地域で使用することは出来ないだろうか」、との意見がでました。

そこで、クラブがテニス練習をしている子供たちを受け入れ教室を開設、「総合型地域スポーツクラブ」として学校に使用許可を求めました。その結果、週末の空いている時間帯の使用を認められたばかりか、中体連主催の大会へ学校代表として出場することも認めてくれました。

部活動ではありませんが、学校施設での練習、中体連主催大会への出場は子供たちのモチベーションアップにつながり、成績も女子団体が平成28年度四国総体第3位になるなど、着実にレベルアップしてきました。

### 3 週末の部活動休養日や平日夜間に各種教室を開催

**活動の場を提供することで、保護者・子供たちの不安を緩和**

平成30年3月にスポーツ庁から発表された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に対して、保護者・子供たちから「スポーツをやりたい子供たちのことを考えているのか」、「部活よりもクラブチームに入った方がいいんじゃないか」など、活動時間が減らされることへの不安や不満の声が上がりました。

そこで、部活動の外部指導者が中心となり、週末の部活動休養日や平日夜間に「ONOスポーツクラブ」としてバスケットボール教室、野球教室を開催、子供たちに活動の場を提供することにしました。

**部活動生徒のクラブ加入は強制でなく任意 テスト期間は学校の方針に歩調合わせる**

教室開催にあたり、それぞれの部活動に入っている子供たちには、クラブへの加入は強制でないことを説明、勉強や遊びの時間を持ちたいという子供にも配慮するようにしました。学校とのコミュニケーションについてもクラブ側から取るようにしています。グラウンド・体育館の使用調整や練習内容・日程の調整に関しては部活動の顧問の先生と相談し、学校とクラブ間の調整事項については教頭先生と話し合っています。こうした意思疎通を図った上で、練習日や指導・練習内容の調整など、部活動の指導方針と乖離(かいり)しないよう心がけています。また、テスト期間など学校が部活動を停止している時はクラブも練習を行わないなど、学校の方針にも歩調を合わせるようにしています。

現在、バスケットボールが平日の夜2回と週末の部活動休養日に、野球が週末の部活動休養日に練習しています。部活動休養日における体育館、グラウンドについては、テニスコート同様、使用を認めていただくことができました。

## 4 スポーツ少年団指導者と地域の有志も教室運営に協力

小野地区ではスポーツ少年団や社会体育など、スポーツを通じて地域の大人が子供を育てようとする「文化・風土」があったこともあり、スポーツ少年団指導者、地域の有志の皆様から「小野の子供たちのためなら」と子供たちへの指導、教室の運営に協力を得ることができました。

クラブに参加した子供の保護者からは「もっと上手になりたい！という子供たちの気持ちを地域で支えていただいて本当にありがたい」、中学校長からは「部活動がいい成績を収められるのは、社会体育や外部指導者の指導のおかげ」と感謝の言葉をいただいています。

## 5 クラブ側の役割は事業の調整とフォローが中心

現在、当クラブの取り組みは松山市の「部活動地域連携モデル事業」となっており、今年の1月と6月、松山市教育委員会、小野中学校と当クラブで協議会が開催されました。この協議会を通じて部活動に関する諸課題やガイドラインに関する互いの思い・考え方を率直に話し合うことができています。

昨今、「学校運動部活動」という日本のジュニアスポーツを支えてきた文化が変革期を迎えています。部活動と地域の連携については、いろんな考え方、やり方があると思いますが、どのような連携の形をとることが「大好きなスポーツをやりたい」という子供たちの思いに応えることになるのか、関係機関とも協議しながら、今後も活動していきたいと思っています。

(ONOスポーツクラブ クラブマネジャー 篠原昌也)



ティーボール教室の様子(高校・中学野球部連携イベント)



## クラブ プロフィール

**設立年月日** 平成25年4月1日

**所在地** 愛媛県松山市小野地区

**運営** 会員数101名(令和元年6月1日現在)、予算規模260万円(平成30年度)

**有給職員** 0名

**特徴** 平成25年4月設立のONOスポーツクラブは、役員全員がボランティアの任意団体として活動しております。設立当初から小野地区の子供たちのスポーツ環境向上のため、スポーツ少年団、中学校部活動および様々な企業や競技団体との連携を図っております。昨年度からは競技人口拡大のため、愛媛県高等学校野球連盟および小野中学校野球部の協力を得て、未就学児童・小学校低学年を対象に高校球児が指導する「ティーボール教室」も開催しています。

**連絡先** 〒791-0244 愛媛県松山市水産町907-1 ONOスポーツクラブ連絡事務所

電話番号 090-3787-9469 FAX 089-970-1581

E-Mail [fwkv5501@gmail.com](mailto:fwkv5501@gmail.com)

URL <https://ja-jp.facebook.com/ono.sportsclub/>



県外チームとの交流(バスケットボール)



中学校グラウンドでの練習の様子(野球)



中学校テニスコートでの練習の様子(テニス)



中学校体育館での練習の様子(バスケットボール)